



平成 30 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 新潟交通株式会社
代表者名 代表取締役社長 星 野 佳 人
(コード番号 9017 東証第二部)
問合せ先 取締役総務部長 長 沼 哲 男
(TEL. 025-246-6335)

利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 5 月 15 日開催の取締役会において、下記のとおり、平成 30 年 6 月 27 日に開催を予定している第 105 回定時株主総会に、利益準備金の額の減少並びに剰余金の処分に関する議案を付議することについて決議しましたので、お知らせいたします。

記

1. 利益準備金の額の減少

(1) 利益準備金の額の減少の目的

剰余金の配当等財源の充実を図るとともに今後の経営環境の変化に対応した機動的かつ安定的な配当政策を実施するため、会社法第 448 条第 1 項の規程に基づき、利益準備金の取り崩しを行い、全額を繰越利益剰余金に振り替えるものであります。

(2) 利益準備金の額の減少の要領

① 減少する利益準備金の額

利益準備金 360,354,000 円のうち 360,354,000 円 (全額)

② 利益準備金の額の減少の方法

利益準備金減少額の全額を繰越利益剰余金に振り替えることといたします。

(3) 利益準備金の額の減少に関する日程

| | |
|---------------|-----------------------|
| ① 取締役会決議日 | 平成 30 年 5 月 15 日 |
| ② 債権者異議申述公告 | 平成 30 年 5 月 25 日 (予定) |
| ③ 債権者異議申述最終期日 | 平成 30 年 6 月 25 日 (予定) |
| ④ 株主総会決議日 | 平成 30 年 6 月 27 日 (予定) |
| ⑤ 効力発生日 | 平成 30 年 6 月 27 日 (予定) |

(4) 今後の見通し

本件は、「純資産の部」における勘定科目の振替処理となるため、純資産額に変動はなく、当社の業績に影響を与えるものではありません。

なお、上記の内容は、平成 30 年 6 月 27 日開催予定の第 105 回定時株主総会において承認可決されることを条件としております。

2. 平成 30 年 3 月 31 日を基準日とする剰余金の処分

(1) 配当決定の理由

当社は、長年にわたり無配であり、株主の皆様にはご迷惑とご心配をおかけいたしました。

当社は、未だ十分な財務体質ではありませんが、ようやく利益剰余金がプラスに転じたことを踏まえ、当期の期末配当につきまして、1株当たり10円として平成 30 年 6 月 27 日開催予定の第 105 回定時株主総会に付議することを決議いたしました。

なお、本件につきましては、上記の「1. 利益準備金の額の減少」が実施されることを条件としております。今後も業績の動向や会社の持続的成長を実現するための投資等を勘案しつつ、利益を積み上げ株主の皆様への配当を継続していく考えであります。

(2) 配当の内容

| | 決定額 | 直近の配当予想 (平成30年 2 月 9 日公表) | 前期実績 (平成 29 年 3 月期) |
|----------|--------------------------|------------------------------|------------------------|
| 基準日 | 平成 30 年 3 月 31 日 | 同 左 | 平成 29 年3月31日 |
| 1株当たり配当金 | 10 円 00 銭 | 0 円 00 銭 | 0 円 00 銭 |
| 配当金総額 | 38.4 百万円 | — | — |
| 効力発生日 | 平成 30 年 6 月 28 日 (予定) | — | — |
| 配当原資 | 利益剰余金 | — | — |

(参考) 年間配当金の内訳

| | 1株当たりの配当金 (円) | | |
|------------------------|---------------|-----------|-----------|
| | 第2四半期末 | 期末 | 年間 |
| 当期実績 | 0 円 00 銭 | 10 円 00 銭 | 10 円 00 銭 |
| 前期実績 (平成 29 年 3 月期) | 0 円 00 銭 | 0 円 00 銭 | 0 円 00 銭 |

以上